

## 会長あいさつ

北区社会福祉協議会創立70周年にあたり、日頃より当協議会に対し、格別のご理解とご協力を賜りました皆様に、深く感謝申し上げます。

昭和28年8月創立以来、当協議会は時世に則した福祉事業を展開してまいりました。特にこの10年は第4次の地域福祉活動計画を策定し、生活困窮者自立支援部門を設立、「ぶらっとほーむ」の運営や生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカーの配置など地域福祉を推進するための事業を地域の皆様の協力のもと、実施してまいりました。また近年激甚化している災害に備え、いわき市・前橋市社会福祉協議会や東京青年会議所と協定を締結し、災害時における体制強化を図りました。さらに子ども・若者の健やかな成長のため「子ども・若者応援基金」を設立し、チャレンジの機会となる事業を展開しております。

直近においては新型コロナウイルス感染症の発生という未曾有の事態を受け、人と人が対面することが制限されました。そうした中でも「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域福祉の推進に努めて来たところです。

社会情勢が大きく変貌する中で、複合化・複雑化した課題を抱える世帯に対する支援など既存の制度では対応が困難となっています。こうした課題に対しても、当協議会は一丸となって解決に向けて取り組む所存です。

末筆となりましたが、当協議会をご支援いただいている北区長をはじめとした行政諸機関、北区議会、北区民生委員・児童委員協議会等関係各位の変わらぬご協力を心よりお願い申し上げます。北区社会福祉協議会創立70周年のご挨拶とさせていただきます。



社会福祉法人  
北区社会福祉協議会

会長 **水越 乙彦**

## 祝辞

北区社会福祉協議会が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。貴協議会におかれましては、昭和28年8月の創立以来、地域福祉の向上にご尽力を賜り、関係者の多年にわたるご苦労に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。

近年、社会状況やライフスタイルの変化、新型コロナウイルス感染症による影響等により、人と人がふれ合う機会が減少し、地域住民同士のつながりや支え合いの精神の希薄化とともに、社会的孤立を原因とした生活困窮、ヤングケアラー、8050問題など地域が抱える課題が多様化かつ複雑化するとともに複合化しています。

北区では、「みんなで創る。北区新時代」を基本姿勢として「誰かひとりではなく、みんなが豊かさを感じることができるあたたかな北区」の実現に向けて全力で取り組んでいるところです。こうした中で、地域が抱える複雑で多様な福祉課題への対応は北区にとって喫緊の課題であり、より豊かな区民生活のため、貴協議会をはじめ様々な団体等と一層連携を密にして取り組みを進めてまいりたいと考えています。

貴協議会におかれましては、これまでの活動で培った経験と人脈、コーディネート力を活かし、地域の社会資源をつなぎ、引き続き地域福祉推進のネットワークの中核としての積極的な活動にご期待申し上げます。

結びに、貴協議会の益々のご発展と、関係各位のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



北区長

**やまだ 加奈子**